

水曜コラム+

日銀いよ金融教室 第95回：「愛媛の隠れた魅力、愛媛に無いもの」

2018年7月11日（水）（愛媛新聞 E 4 編集係）

平成30年台風7号及び前線等に伴う大雨により被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。日本銀行松山支店では、四国財務局局松山事務所長と連名で、金融上の措置を要請しております。

◎平成30年台風第7号及び前線等に伴う大雨にかかる災害に対する金融上の措置について

昨年5月に松山支店に赴任してから、早いもので、1年2か月が経とうとしています。最初の本コラムで、「愛媛・松山に来て、最初に思い浮かんだ言葉は『バラエティとコンパクト』」、「愛媛は、自然の面でも、また産業の面でもバラエティに富んでおり、支店のある松山は路面電車などを通じてコンパクトにまとまっていて、とても住み易い」、「ずっとお住まいの方にとっては当たり前のことかもしれませんが、素晴らしい環境で、外から来た者だからこそ気が付くこともあると思います」と書きました。その思いは、今も変わっていません。

昨年夏、スキューバダイビングをしたり、キャニオニングをしたりして、南予の素晴らしい自然を満喫させて頂きましたが、地元の方でも、経験されたことがある方はあまり多くないように思います。豊かな自然以外にも、例えば、平均通勤時間が20分と短いのも、愛媛の魅力の1つだと思います（東京は40分です）。

こうしたことから、愛媛と東京では、自由になる時間が1日50分程度違うそうです。平日だけでも、1週間で約4時間。1年間だと220時間程度になり、1日16時間起きているとすると、ほぼ半月分も自由に使える時間が、愛媛の方が東京よりも長いことになりま。そう考えると、この1日約1時間を、自己研さんなどに有効活用していくことが重要と感じられるようになると思います。こうしたことは、ずっと愛媛で暮らしていても、気が付かないのではないのでしょうか。逆説的に聞こえるかもしれませんが、地元の魅力に気づくためにも、ひと時、外に出てみることも有効なように思います。

また、愛媛で暮らし、地元の方と親しくさせて頂いて、その郷土愛の高さも強く感じます。愛媛には一通りのものが揃っていることもその背景にあると思いますが、敢えて、

「愛媛に無いもの」を挙げてみます（私は、スポーツ観戦や海が好きなので、かなり偏った例になっているかもしれませんが）。

「スポーツに力を入れており、スポーツが好きな人が多いのに、県民がこぞって熱狂して応援できる1部リーグのプロスポーツがない」

「海が身近で釣りをする人は多いのに、天候に左右されずに楽しめる水族館がない」

「海岸線が全国第5位と長いのに、波音を聞いてリラックスできるような砂浜が少ない」

無いには無いなりに、それぞれ理由があることは十分承知しており、批判する意図は全くありません。これらは例に過ぎませんが、一通りのものが揃っている愛媛だからこそ、敢えて、「今無いものを求めていく貪欲さ」も必要なように思います。人口減少のなかでも、そうした取組みを進めて行けば、愛媛のポテンシャルをまだまだ引き出していく余地はあると思います。

（日本銀行松山支店長・金沢敏郎氏）